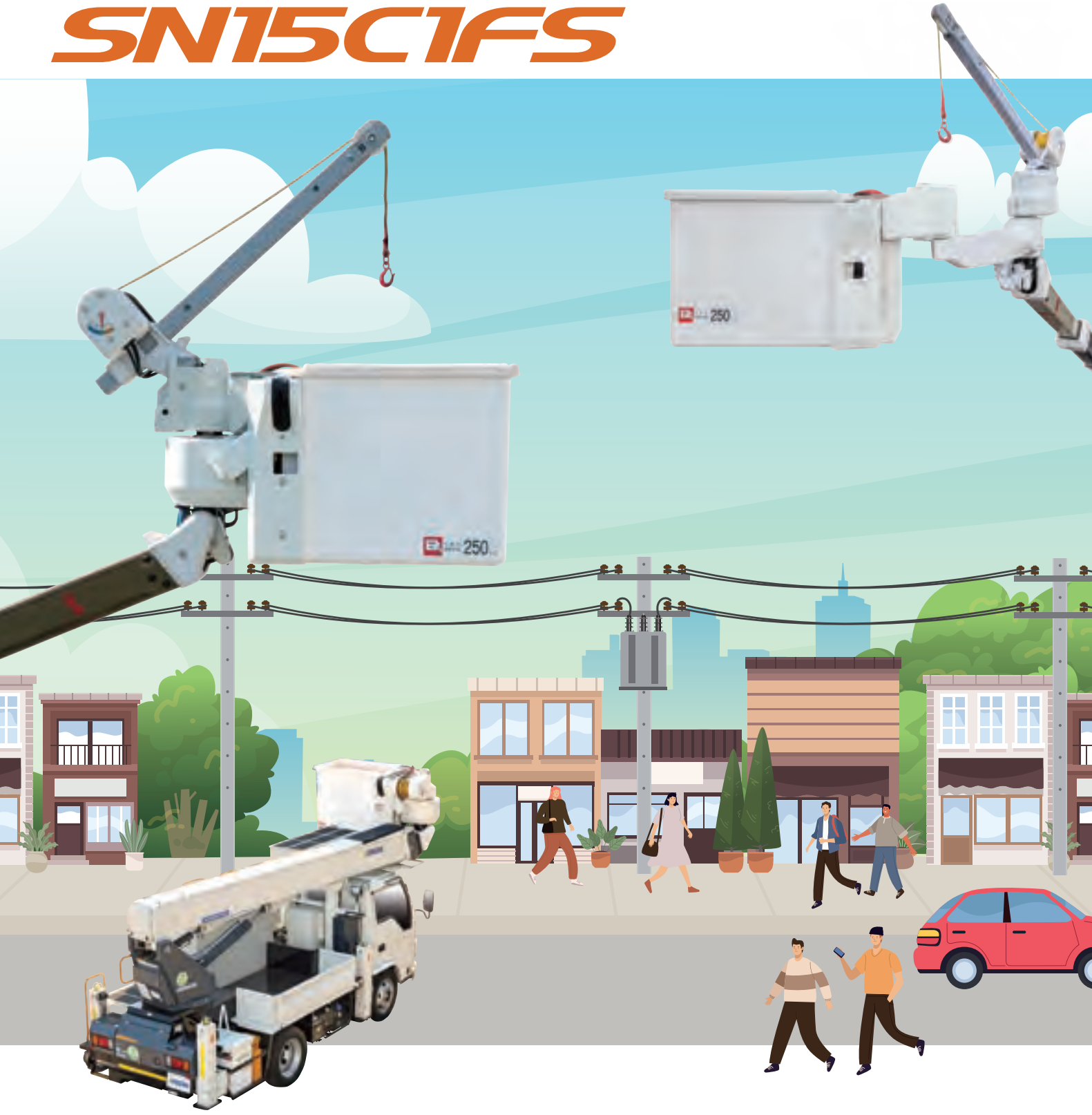
AICHI

SH15C1FS
SN15C1FS



スカイマスター SKYMASTER

※カタログ内の掲載画像はオプション装着車となります

AICHI QUALITY

現場に柔軟に。
環境にも柔軟に。

配電工事や電気工事をメインに活躍する15mクラスがモデルチェンジ。
リチウムイオンバッテリー仕様をラインナップに加え
高まる環境意識にも柔軟に対応しつつ、お客さまの現場をサポートします。

■ CONTENTS

P.03	ラインナップ	Line Up
P.05	特長紹介	Feature Introduction
P.15	主要作業装置	Main Working Device
P.19	操作装置	Operating Device
P.23	構造・装備	Structure and Equipment
P.25	オプション	Option
P.29	作業範囲図	Working Range
P.32	車両寸法図	Vehicle Dimensions
P.33	主要諸元	Main Specifications
P.34	拠点一覧	Domestic Bases

リチウムイオン
バッテリー仕様登場!

SH15C1FS
SN15C1FS

CHECK!
商品紹介ビデオ

カタログ内のQRコードを
読み込むことで紹介動画を
ご覧いただけます

※掲載画像はオプション装着車です

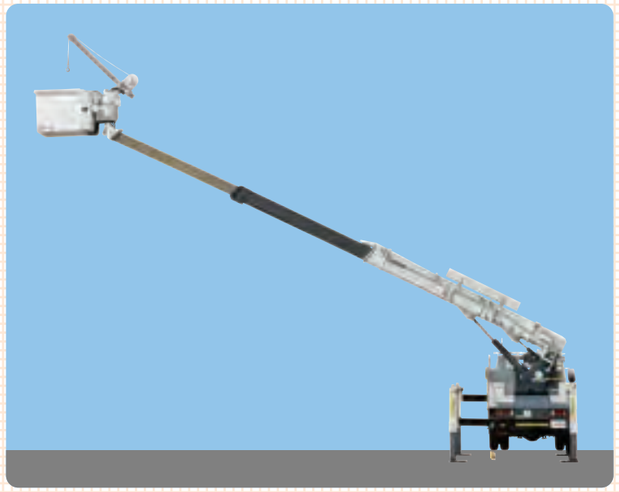
SH15C1FS

機種能力

最大地上高	最大作業半径	最大積載荷重
15.1m	11.8m	250kg（2名）

※バケット昇降0.5m含む

広い作業範囲を誇る 15mクラスのニュースタンダード！



ブーム先端の重量が軽く、広い範囲での作業が可能です。

SN15C1FS

機種能力

最大地上高	最大作業半径	最大積載荷重
14.6m	10.9m	250kg（2名）

※バケット昇降0.5m含む

多関節アームにより作業効率が大幅に向上！

電柱裏側への回り込みや架線間へのスムーズな割り込みが可能なため
電柱周りでの作業効率の向上に貢献します。

CHECK! ☞ ラインナップ

※掲載画像はオプション装着車です

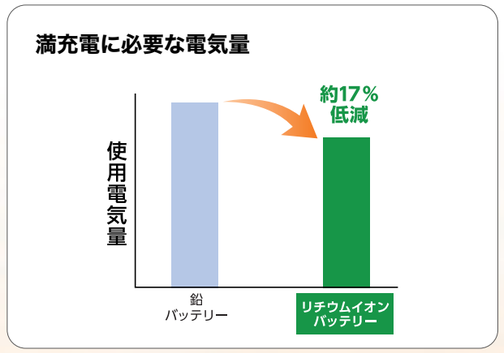
環境

■カーボンニュートラルに貢献する高機能バッテリーユニット

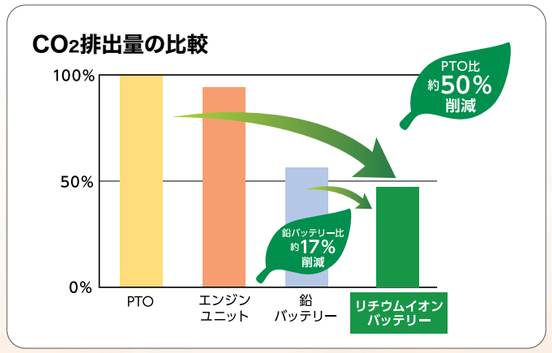
架装部を動かす電源にリチウムイオンバッテリーが登場。
「高い充電効率」「外気温や経年への耐性」「長いサイクル寿命」などといった長所を活かし、カーボンニュートラル実現と現場における作業環境の向上に貢献します。

POINT 1 カーボンニュートラル実現に貢献

リチウムイオンバッテリーを採用することで作業中に排ガスを出さないのはもちろんのこと、充電効率が高いため電気使用量の低減が可能です。そのためバッテリー充電に必要な電気を発電する際に排出されるCO_2の量で比較すると、鉛バッテリーから17%削減を実現。またPTO仕様の車両と比較した場合、CO_2排出量は約半分となります。カーボンニュートラル達成目標の実現に寄与することに加え、車両にかかわるランニングコストの抑制にも貢献します。



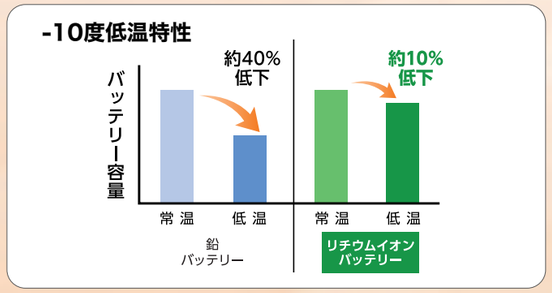
※当社調べ



※「PTO」「エンジンユニット」におけるCO_2排出量は作業時におけるものです(当社調べ)
※「鉛バッテリー」「リチウムイオンバッテリー」におけるCO_2排出量は、充電に必要な電気を発電する際の算出値となります(当社調べ)

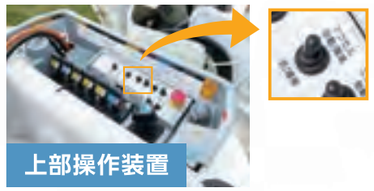
POINT 2 低温および経年時におけるバッテリー容量低下を抑制

外気温や経年による影響に左右されにくいリチウムイオンバッテリーでは、1日を通して安定した架装部作動を実現。特に寒冷地におけるバッテリー容量低下への耐性が高く鉛バッテリーと比較して30%向上します。



POINT 3 作動スピード向上

リチウムイオンバッテリー仕様で新たに設定された「高速モード」では、ブーム伸長およびウインチ巻上げ/巻下げ操作においてPTO仕様と同等の作動スピードを実現。作業中に発生する架装部作動をよりスピーディーにすることで、効率化に寄与します。特に配電工事をはじめとした高所作業車を日々使用する現場では累積による時短効果が大きく、「働き方改革」の一環である労働環境改善に貢献します。



	項目	鉛バッテリー（通常モード）	高速モード	時短効果
①	1サイクルあたりの所要時間	当社測定結果による		約20秒
②	1日あたりの想定サイクル数	約10回		
③	1日あたりの想定作動時間（①×②）	0.6時間	0.5時間	0.1時間
④	1年あたりの想定作動時間（③×月20日×12ヵ月）	144.4時間	129.8時間	14.6時間
⑤	12年あたりの想定作動時間（④×12年）	1732.8時間	1558時間	174.8時間

※１サイクルとはアイチ標準作動パターンを指します
※表中の数値は小数点第二位を四捨五入したものであり、切り捨て/切り上げによる差異が含まれます
※車両代替サイクルの想定を12年としています

12年間の時短効果
約175時間 / 12年
↓
日数で換算すると･･･ ★1
約22日分 / 12年
↓
月数で換算すると･･･ ★2
約1.1ヶ月/ 12年

★1 日数換算の算出方法

1日の就業時間を8時間とし、時短効果を日数換算すると以下となります。

12年間の時短効果 / 1日あたりの就業時間 / 日数換算
175 時間 ÷ 8 時間 ＝ 21.9 日

★2 月数換算の算出方法

1月あたりの稼働日を20日とし、時短効果を月数換算すると以下となります。

日数換算での時短効果 / 1月あたりの稼働日数 / 月数換算
21.9 日 ÷ 20 日 ＝ 1.1ヶ月

POINT 4 充電時間の大幅短縮 OP

オプションで急速充電器および専用差込口を追加することにより充電時間の大幅短縮が可能。残量0%から満充電が2時間で完了するため昼夜二交代など高稼働な現場で活躍します。

※急速充電コネクターは三相200Vとなります

急速充電対応（オプション）により充電時間短縮が可能！

急速充電 約2時間
通常充電 約10時間
→ 通常充電比 約80%短縮

※0%から100%充電した場合
※充電時間は環境により異なるため、参考値となります

》専用急速充電器 OP

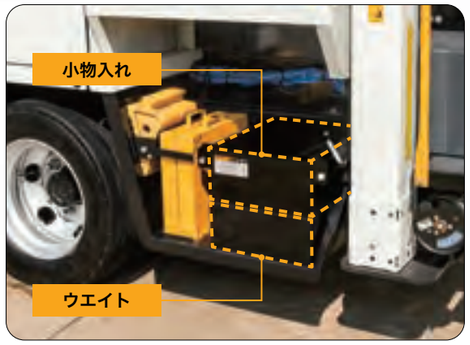
※掲載画像はオプション装着車です
※ OP マークは「オプション装備」であることを表します

環境

POINT 5 バッテリー小型化による積載スペース増加

鉛バッテリーの約半分の大きさでほぼ同等の容量をもつリチウムイオンバッテリーを採用することで、ユニットの車体占有率を低減。空きスペースに小物入れを設け、使いやすさを向上させました。

助手席側後方

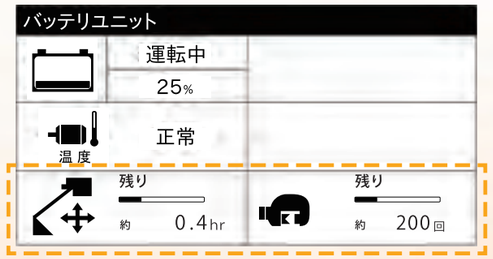


運転席側後方

POINT 6 残り作動時間の見える化

下部操作装置にあるマルチインフォメーションディスプレイに「バッテリー駆動時のブーム残り作動時間」「油圧ブースターの残り圧縮回数」の表示を追加。現場の運用における判断をサポートします。

※「ブーム残り作動時間」「油圧ブースター残り圧縮回数」は
リチウムイオンバッテリー仕様の場合のみ表示されます。
また表示数値は目安となります(使用状況により変化します)

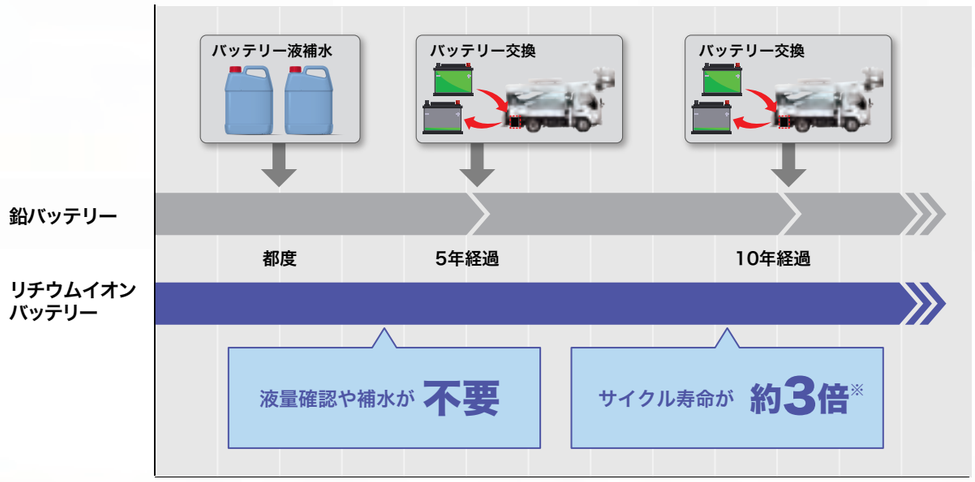


POINT 7 充電に関する手間を削減

バッテリー内部の各セルに対する充電状況にバラつきが発生するため、鉛バッテリーでは手動による均等充電操作が定期的に必要である点に対して、リチウムイオンバッテリーでは各セルの状態モニタリングを行って自動で均等充電をかけるため、日々の運用にかかわる手間を軽減します。

POINT 8 バッテリーのメンテナンスおよび交換にかかる手間を軽減

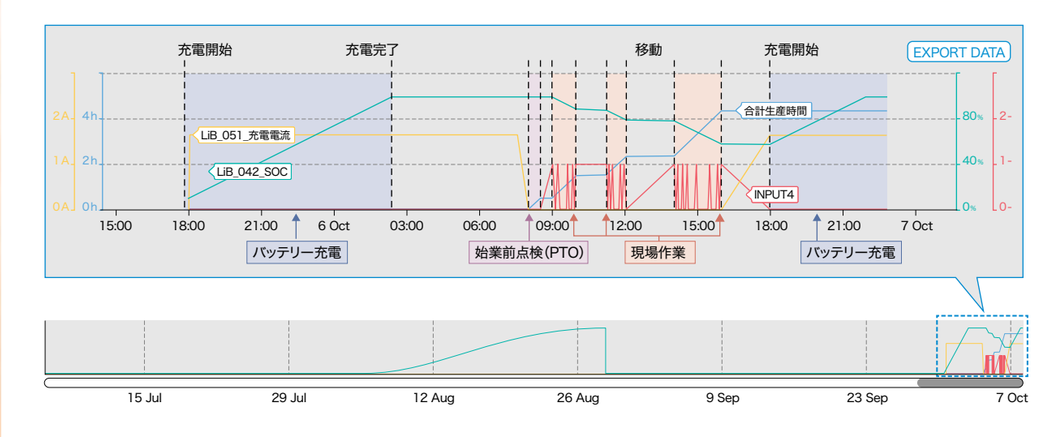
リチウムイオンバッテリーでは液量確認および補水が不要な仕様を採用したことで、日々のメンテナンスにおける手間を軽減。また寿命が長いため、バッテリー交換の頻度を大幅に減らすことができ、管理が容易で使いやすい車両を実現しました。



※机上の計算値では従来の鉛バッテリーと比較して約3倍のサイクル寿命となっていますが、使用条件や個体差によって異なる場合があります

POINT 9 テレマティクスによる遠隔モニタリング&データ活用「SMIL」

リチウムイオンバッテリー仕様標準装備の「SMIL」は車両の位置情報、作動情報、異常情報などを遠隔モニタリングすることが可能。またバッテリー残量、充電電流量(積算)、充電時間など様々な情報を取得し、グラフ化やデータ出力ができます。他にも稼働情報マップ、規制や異常などのイベント情報、レポート出力などのメニューにより運用をサポートします。



※上図における一部の説明語句は実際の画面上で表示されないものがあります

※掲載画像はオプション装着車です

作業効率

POINT 1 変化する作業環境において最大限の作業範囲を確保！

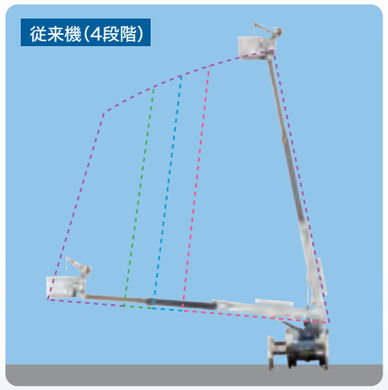
CHECK! きめ細かい作業範囲

■無段階アウトリガー

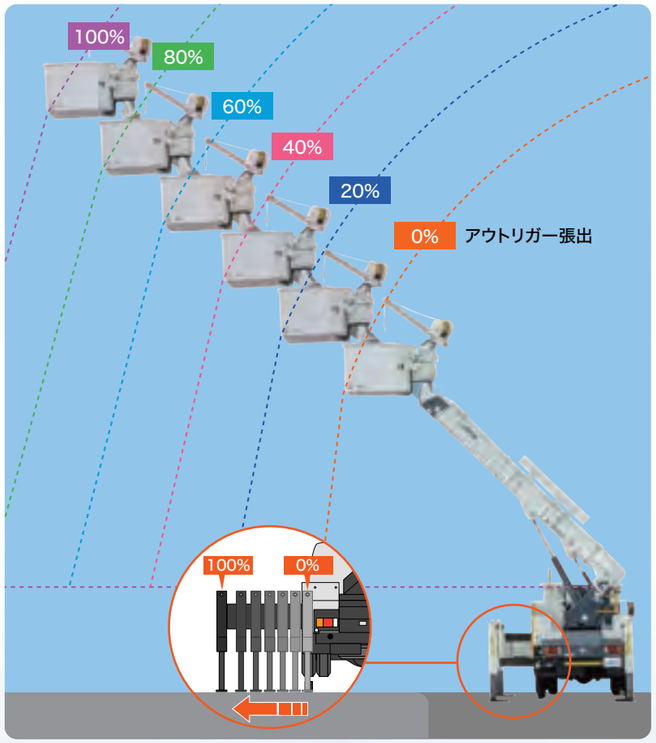
**アウトリガー張幅に応じて
きめ細かく作業範囲が変化**

アウトリガー張幅規制を従来の４段階から無段階にすることで、「限られた車両設置スペースでも最大限の作業範囲を確保したい」という現場の声を形にしました。

※SN15C1FSは張出0%～40%の範囲で無段階張出となります



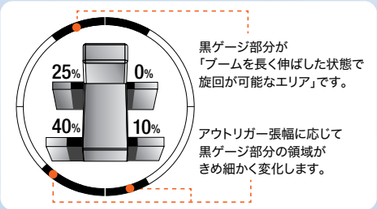
最大張出時の作業範囲
中間2張出時の作業範囲
中間1張出時の作業範囲
最小張出時の作業範囲



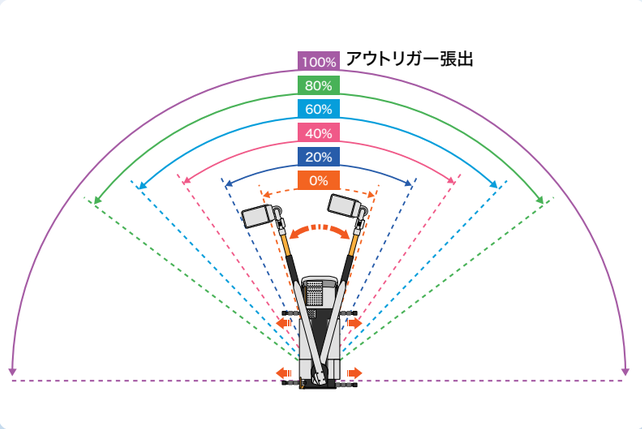
※上図はイメージです

**アウトリガー張幅に応じて広い作業範囲を
確保できるエリアがきめ細かく変化**

ブームを長く伸ばした状態で旋回可能なエリアがアウトリガー張幅に応じてきめ細かく変化。さらに上記エリアをマルチインフォメーションディスプレイにて確認可能なため、バケットの到達範囲を搭乗前に把握しやすくなりました。



※上図は車両前方側における最大作業範囲可能エリアのイメージです



POINT 2 より広い作業範囲で生産性向上！

CHECK! 前方作業範囲/全周作業範囲の拡大、ブースターの改良

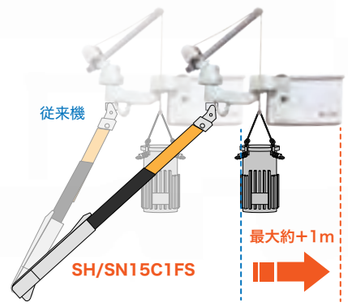
■前方作業範囲の拡大

車両前方側における「低空領域」および「ウインチ使用時」での作業範囲を拡大しました。従来機よりも作業範囲が広がることで生産性向上に貢献します。

●前方低空領域の拡大

※ブーム受け付近に限ります

●前方作業範囲の拡大（ウインチ使用時）

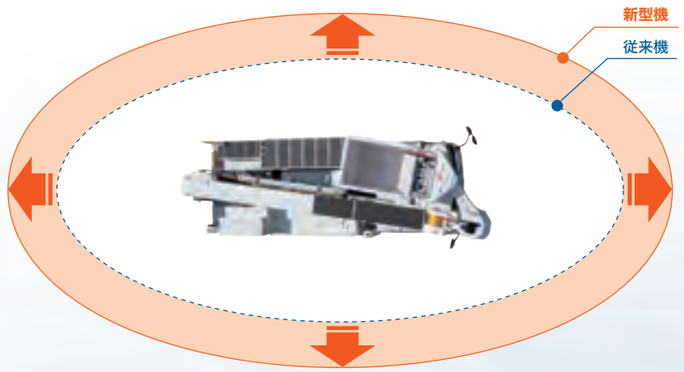


バケット積載荷重５９０ｋｇ時目安
（例）作業者・工具１００ｋｇ+４９０ｋｇ吊り上げ

■全周作業範囲の拡大

作業範囲を全体的に拡大。
「あと少し伸ばしたい」というお客さまの声を形にし、生産性向上に貢献します。

SH：最大 約+0.2m
SN：最大 約+1.0m



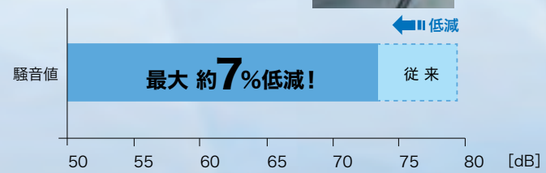
POINT 3 圧縮作業の生産性向上！

■ブースターの改良

バッテリー駆動時の圧縮時間の短縮により、生産性向上に貢献します。また静音性も改善しました。

●バッテリー駆動時の圧縮速度を向上（連続９回圧縮時）

●静音性の向上（PTO駆動時）



※騒音値は社内測定基準に基づく数値となります

※掲載画像はオプション装着車です

作業効率

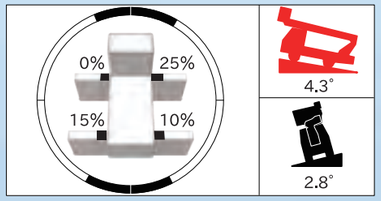
POINT 4 安全作業をアシスト！

CHECK! マルチインフォメーションディスプレイ

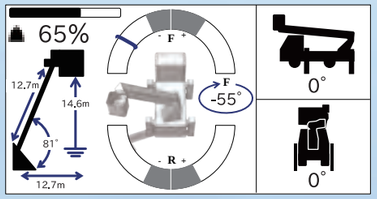
■マルチインフォメーションディスプレイ

下部操作装置に4.3インチの液晶カラーモニターを標準装備。アウトリガー張幅、路面傾斜角度、旋回規制角度、ブーム状態バッテリー状態、規制情報、異常情報といった車両情報をリアルタイムに表示し、安全作業をアシストします。

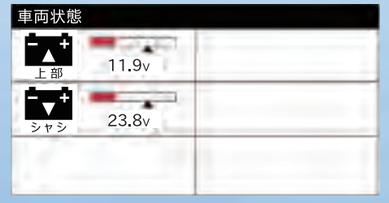
表示内容例



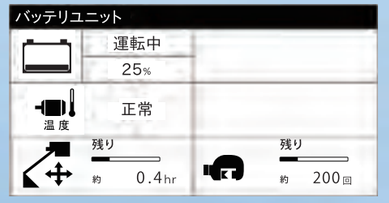
》アウトリガー張幅、路面傾斜角度（車体傾斜角度）旋回規制角度



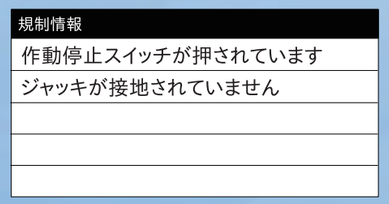
》ブーム状態、旋回規制角度、車体傾斜角度



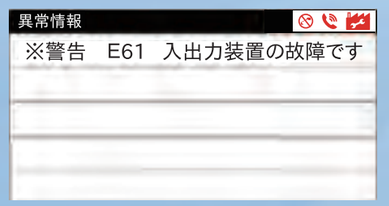
》バッテリー状態（上部バッテリー、シャシーバッテリー）



》バッテリー状態（バッテリーユニット）※



》規制情報



》異常情報

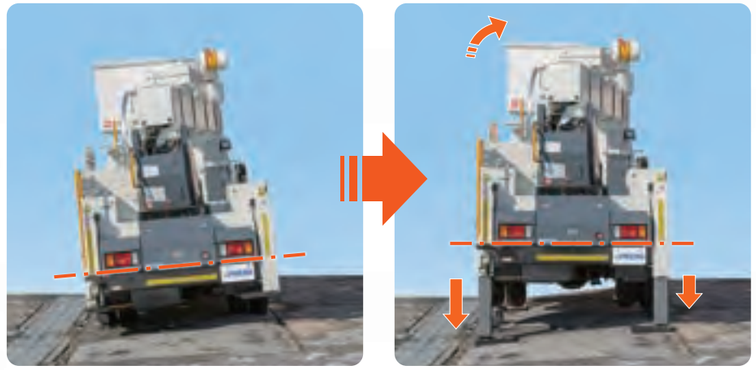
※「ブーム残り作動時間目安」「油圧ブースター残り圧着回数目安」はリチウムイオンバッテリー仕様の場合のみ表示

POINT 5 使いやすさを追求！

CHECK! ジャッキストローク拡大

■ジャッキストローク拡大

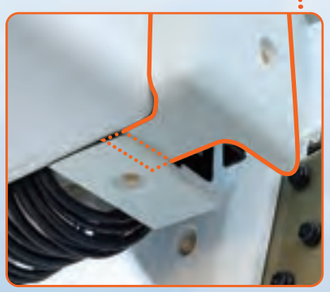
ジャッキストロークを65mm拡大。車体傾斜補正能力が向上したことで、より多くの現場でお使いいただけます。



■作業床FRPカバー改良

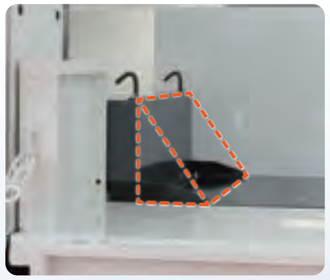
作業床のFRPカバー構造を改良。FRPカバーの隙間を減らし、架線との接触による破損リスクを低減しました。

架線引っ掛かりによるカバー損傷を軽減



■荷台の積載面積拡大

旋回台前方のスロープ形状をなくし積載面積を拡大させました。



■バケットカバー改良

バケットカバーの構造を改良。
一人で楽にカバー取付が可能です。

※掲載画像はオプション装着車です

安全

POINT 1 より安全で楽な昇降に貢献

CHECK!
等間隔ステップ、黄色手すり、昇降経路幅の拡大

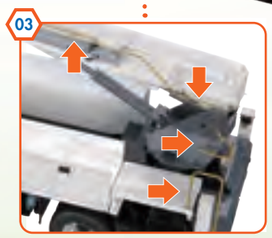
■等間隔ステップを採用 01

昇降ステップを等間隔に配置することで踏み外しリスクを低減しました。

■昇降経路幅を拡大 02

ターンテーブル側面にあったボックスのレイアウトを見直し従来より昇降経路幅を110mm拡大。昇降時の踏み外しリスクを低減しました。

掴みやすく、力が入りやすい高さに手すりを配置。昇降性が向上。



黄色手すりにより視認性が向上。

■掴みやすく視認性の高い手すり 03

車両後方の左右手すりを同じ高さに配置することで三点支持の体勢を取りやすくしました。加えて黄色の手すりを採用し視認性を向上。掴み損ないでの転落リスクを低減しました。

POINT 2 車両側方作業の安全性を追求

CHECK!
ノーテールブーム

■ノーテールブーム

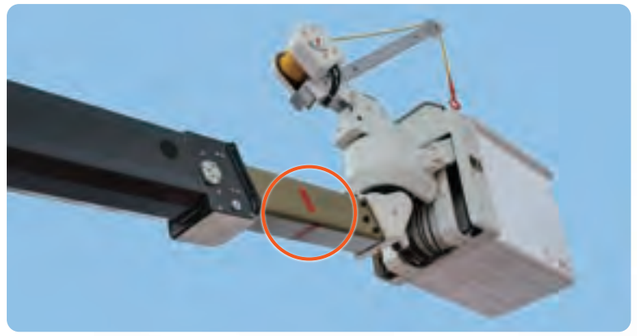
側方作業時にブーム最後尾のとび出しを無くすことで、通行車両や建物などへの接触リスクを低減。安全性を高めることで安心して作業に集中できます。

POINT 3 安全装備の充実

CHECK!
感電防止補助銘板
ニュートラル検知インターロック装置、パーキングブレーキインターロック装置
PTO切り忘れ警報装置、ブーム格納検出凍結対応システム

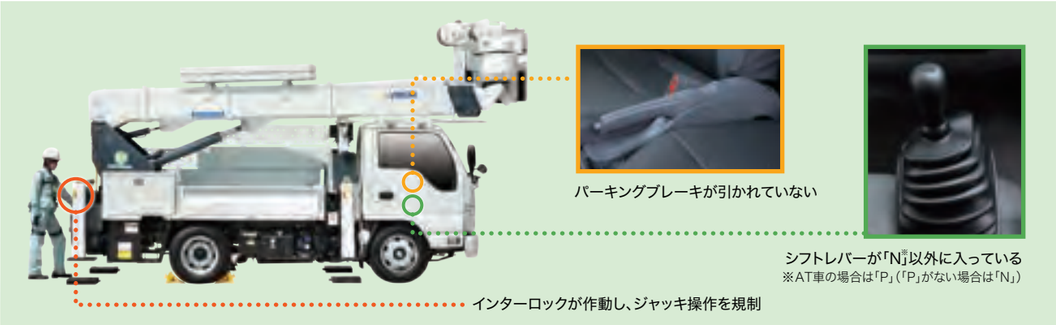
■感電防止補助銘板

バケットライナー～大地間の絶縁性能を発揮するため、第3ブーム伸長量500mmの箇所に目印を標準装備。地上の指揮者からも認識しやすいため感電リスク低減に貢献します。



■ニュートラル検知インターロック装置　■パーキングブレーキインターロック装置

「特定のシフトに入っている」「駐車ブレーキをかけている」といった条件を満たさないと架装部の操作ができない安全装置です。車両設置におけるヒューマンエラーの防止に貢献します。



■PTO切り忘れ警報装置

PTO接続状態で走行すると、キャビン内で警報を発して運転者に注意喚起を実施。ミッション破損リスクを低減します。

■ブーム格納検出凍結対応システム

格納検出部の凍結時でも、ブーム未格納状態でのジャッキ操作を規制。冬季や寒冷地における安全な運用に貢献します。

※掲載画像はオプション装着車です

主要作業装置

Main Working Device

■グレード分類

架装部駆動方式 ▸▸ P16
ウインチ装置方式 ▸▸ P17
バケット方式 ▸▸ P18

SH/SN15Cシリーズでは、「架装部駆動方式」「ウインチ装置方式」「バケット方式」の組み合わせによって11グレードに分類されます。運用方法や作業内容に合わせてお客さまに最適な一台をお選びいただけます。

- **PTO（走行用エンジン駆動型）**
  - バケット昇降式 ― 油圧式 ▶ A
  - バケット固定式 ― ダンパー式 ▶ D
- **バッテリーユニット（リチウムイオンバッテリー型）**
  - バケット昇降式 ― 油圧式 ▶ P
- **バッテリーユニット（鉛バッテリー型）**
  - バケット昇降式 ― 油圧式 ▶ B
  - バケット固定式 ― ダンパー式 ▶ E
- **エンジンユニット（低騒音型）**
  - バケット昇降式 ― 油圧式 ▶ C
  - バケット固定式 ― ダンパー式 ▶ F

		SH15C1FS							SN15C1FS			
グレード		A	D	P	B	E	C	F	A	P	B	C
架装部駆動方式	PTO（走行用エンジン駆動型）	●	●						●			
	バッテリーユニット（リチウムイオンバッテリー型）			●						●		
	バッテリーユニット（鉛バッテリー型）				●	●					●	
	エンジンユニット（低騒音型）						●	●				●
ウインチ装置方式	油圧式	●		●			●		●	●	●	●
	ダンパー式		●			●		●				
バケット方式	バケット昇降式	●		●			●		●	●	●	●
	バケット固定式		●			●		●				

■油圧取出装置／ブースター操作方式

油圧取出装置 ▸▸ P18
ブースター操作方式 ▸▸ P18

SH/SN15Cシリーズでは標準装備である上部油圧取出口に加え、高圧油圧取出口（最大２個）のオプション選択が可能。工法や作業内容に合わせてお客さまに最適な装備をお選びいただけます。

			SH15C1FS（全グレード共通）	SN15C1FS（全グレード共通）	備　考
①	油圧取出装置	上部油圧取出口	○	○	
②		高圧油圧取出口 ×1	△	△	
③		高圧油圧取出口 ×2	△	△	高圧油圧２系統の切替スイッチ付き
④	ブースター操作方式	バルーン式	△	△	②もしくは③をオプション装着した場合に④⑤のどちらか１つを選択
⑤		電気式	△	△	

○ 標準装備　△ オプション

Power Take Off Type

PTO（走行用エンジン駆動型）

走行用エンジンの動力にて架装部を駆動させます。シンプルな構造であり、スタンダードな駆動方式となります。

》シャシーエンジン外観［参考］

》PTOレバー［参考］

※PTOレバー、スイッチは、架装されるシャシーのメーカーによって形状、操作方法が異なります。
詳しくはシャシー側の取扱説明書をご参照ください

Battery Unit Type

バッテリーユニット（リチウムイオンバッテリー型）（鉛バッテリー型）

単相100V　単相200V　三相200V

バッテリーユニットの動力にて架装部を駆動させます。駆動音が小さく、さらに操作時以外は発生しないため特に静粛性に優れた駆動方式となります。
充電方式は「単相100V」「単相200V」「三相200V」の3つからお選びいただけます。

》リチウムイオンバッテリー外観
運転席側の車両後方に設置

》鉛バッテリー外観
左右の車両後方に設置

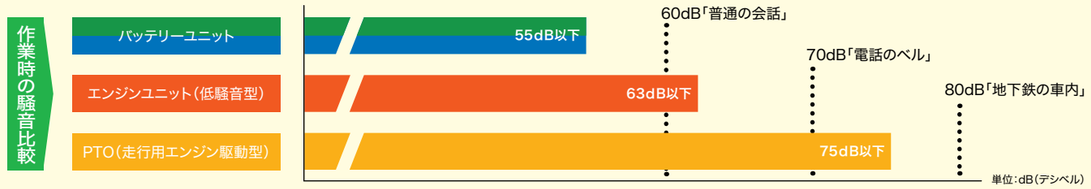
Sub Engine Type

エンジンユニット（低騒音型）

搭載した専用エンジンの動力にて架装部を駆動させます。サイレンサー、吸音材により駆動音を可能な限り低減したエンジン型の駆動方式となります。車両側の燃料タンクから燃料が供給されるため、使用に際して特別な準備が不要です。※

※車両エンジンの燃料が軽油である場合に限ります

》低騒音エンジン外観



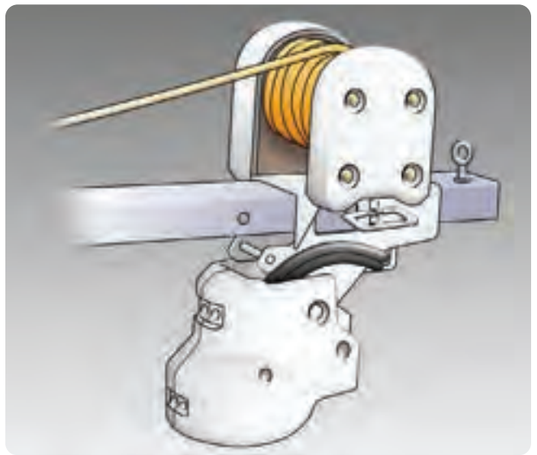
※バッテリーユニットの騒音値は「通常モード時」におけるものです

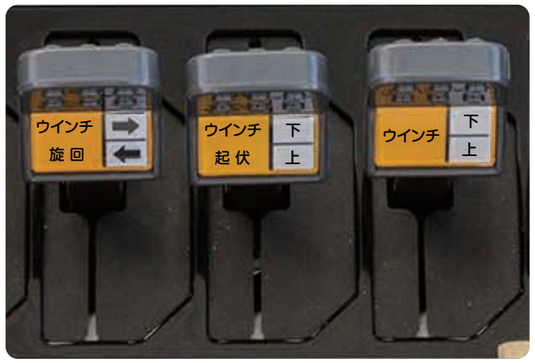
ウインチ装置方式

■油圧式

サブブームの起伏・旋回、ウインチの巻上げ・巻下げを
全て油圧動力にて実施します。

※サブブームの伸縮機能はありません





》ウインチ操作装置（SH15C1FS）

》ウインチ操作装置（SN15C1FS）

■ダンパー式

サブブームの起伏・旋回を手動にて実施します。
（ウインチの巻上げ・巻下げは油圧動力）

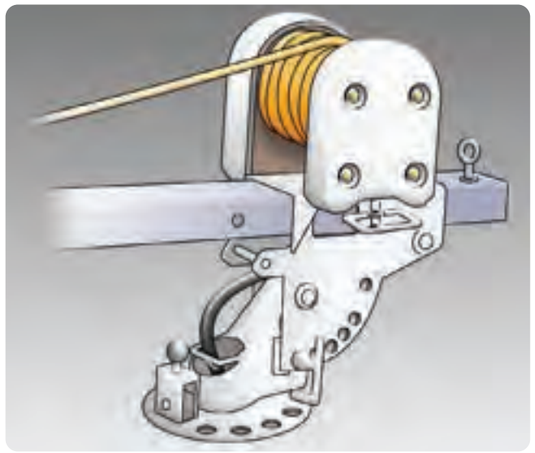
※サブブームの伸縮機能はありません

1. 起伏操作

1）サブブームの吊り上げ荷重計を参照して起伏角を決定
2）起伏セットピンを抜いて所定の角度にセットした後で
　再度セットピンで固定

2. 旋回操作

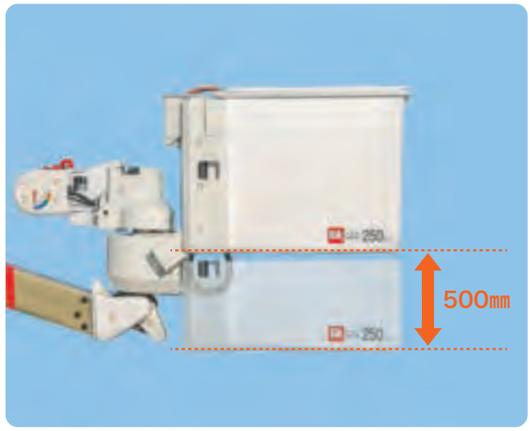
1）旋回セットピンを倒し、手動でウインチ全体を旋回
2）旋回後は再度セットピンを起こしてロック



バケット方式

■バケット昇降

油圧動力にて垂直方向に500mm昇降が可能。
架線や障害物をかわしての作業で大きな効果を発揮します。



圧縮装置

■油圧取出口／高圧油圧取出口

油圧取出の種類および系統数を、接続作業等の頻度に合わせて
選択いただけます。

①上部油圧取出口
②高圧油圧取出口（最大2系統） OP
③高圧取出口切替レバー OP

■ブースター操作方式

作業内容やお使いの圧縮工具に合わせて選択いただけます。

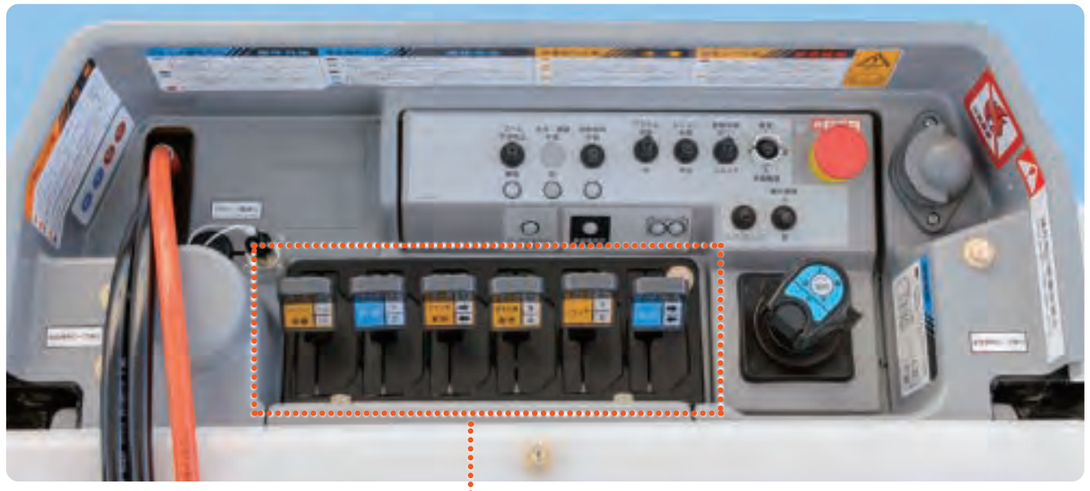
》バルーン式 OP

》電気式 OP

※ OP マークは「オプション装備」であることを表します

上部操作装置

SH15C1FS



》バケット操作レバー（バケット昇降、首振）
》ウインチ操作レバー（旋回、起伏、巻上げ/巻下げ）
》アタッチメント切替レバー（ブースター/ツール）

》異物侵入防止ゴムカバー

SN15C1FS

》バケット操作レバー（アーム旋回、首振）
》ウインチ操作レバー（起伏、旋回、巻上げ/巻下げ）

》バケット操作スイッチ（バケット昇降）
》アタッチメント切替スイッチ（ブースター/ツール）

SH15C1FS SN15C1FS 共通

》3軸ジョイスティック（イネーブルスイッチ付き）
1本のレバーでブームの伸縮・起伏・旋回操作が可能。

》負荷率表示灯
負荷率が90%以上で点滅、100%で点灯。

》バッテリーチェックスイッチ
上部バッテリー残量をLED点灯状況にて表示。
スイッチを入れるとLEDが点灯します。

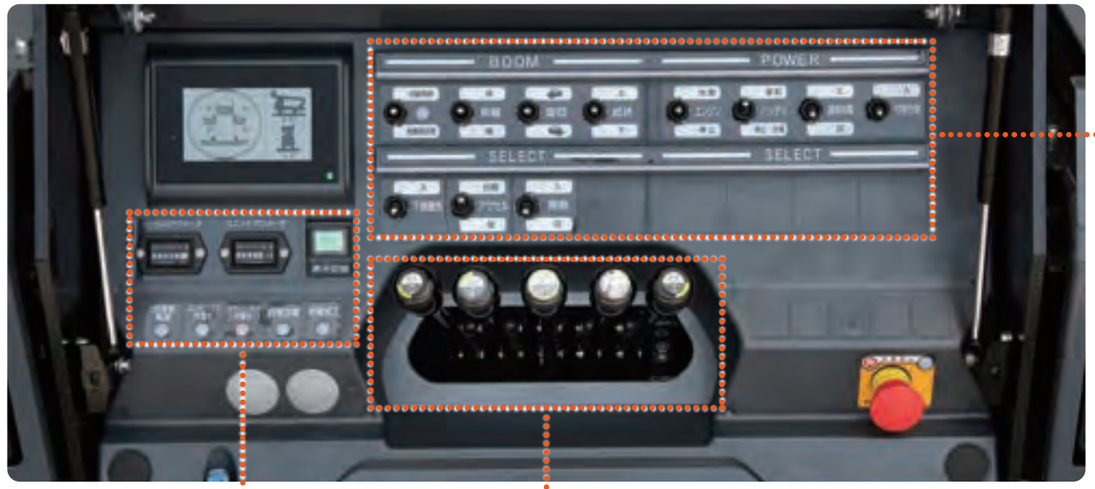
点灯2個：バッテリー残量あり	点灯0～1個：バッテリーの充電が必要

》LED上部操作部照明 OP
操作者の手元視界を補助。

※ OP マークは「オプション装備」であることを表します

下部操作装置

CHECK!
下部操作装置のレイアウト改良、操作補助バー



アワメーター、充電表示灯

アウトリガー・ジャッキ操作装置
分かりやすいピクトグラム式の銘板を採用しました。

ブーム操作スイッチ、ユニット操作スイッチ、その他スイッチ
操作スイッチを系統ごとに分類してレイアウト。さらに従来より文字サイズを大きくすることで、操作性の向上と誤操作防止に貢献します。

操作補助バー
操作スイッチの上方に手を掛けるバーを設置。
操作時の疲労軽減に貢献します。

LED下部操作部照明 OP
操作者の手元視界を補助。操作部全体を明るくすることで
操作性の向上に貢献します。

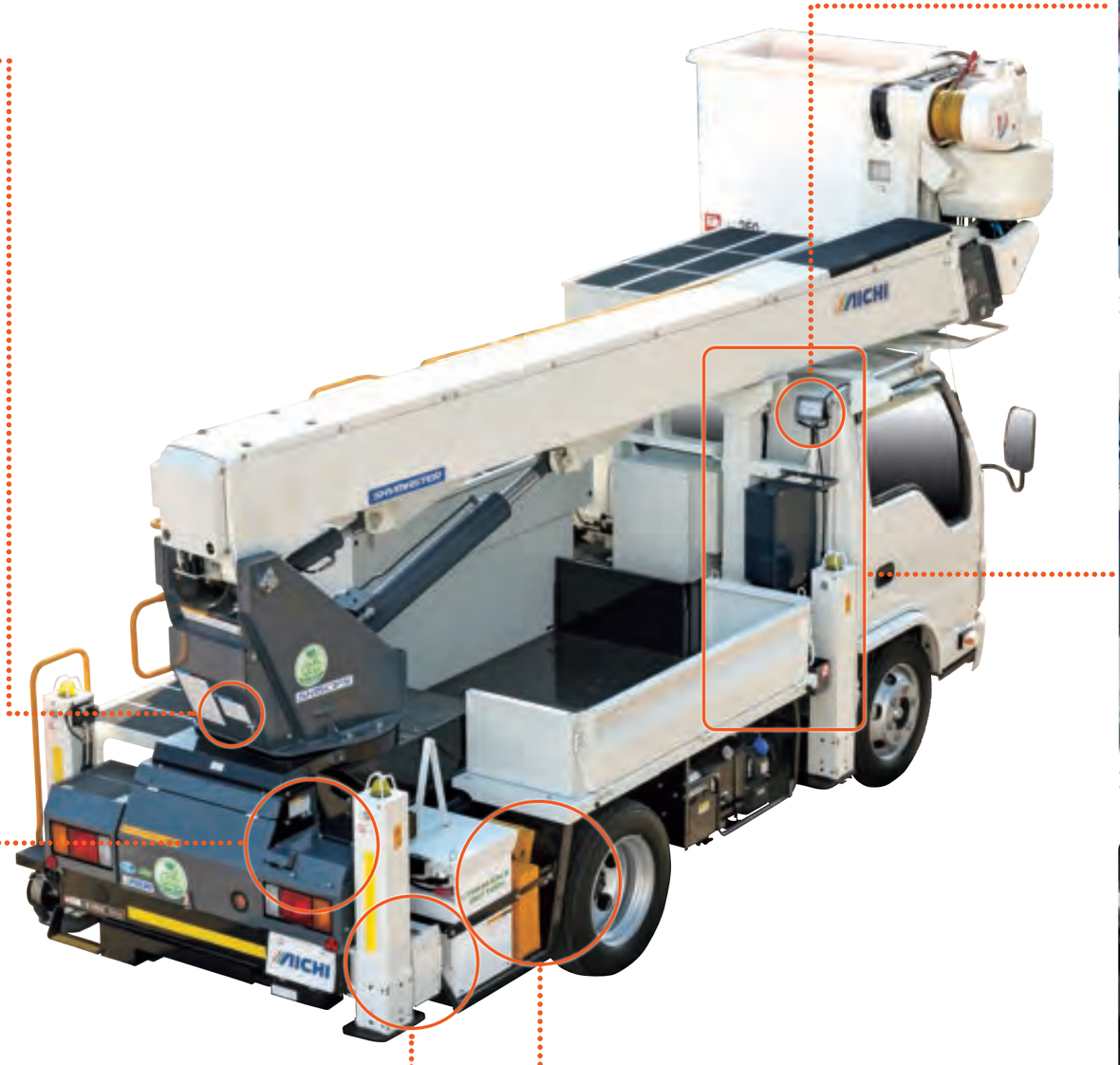
下部操作部カバー(跳ね上げ式)
上開き状態で保持可能なカバー構造を採用。ワンアクションかつ片手での開閉とすることで操作性の向上に貢献します。
また省スペースにて開閉できるため、狭隘地で効果を発揮します。

※ OP マークは「オプション装備」であることを表します

≫レベリング調整レバー
バケットライナー内部の清掃やバケットの傾斜調整に使用。

≫上部バッテリー充電装置
上部操作電源用のバッテリー充電が可能。

≫充電コネクター差込口（リチウムイオンバッテリーユニット用）
充電方式は「単相100V」「単相200V」「三相200V」の3つから選択可能。
※画像は通常充電の「三相200V」です



≫下部作業灯

≫セーフティーコーン収納装置／コーンバー収納装置

≫ジャッキベース格納位置／輪止め格納位置
※上図の「黄色輪止め」「黄色ジャッキベース」はオプション装備になります

※掲載画像はオプション装着車です

オプション一覧 OP

○ 標準装備　△ オプション　－ 設定なし

部　位	装備名	備　考	SH15C1FS							SN15C1FS			
			Aグレード	Bグレード	Cグレード	Dグレード	Eグレード	Fグレード	Pグレード	Aグレード	Bグレード	Cグレード	Pグレード
作業床	LED上部操作部照明	操作者の手元視界を補助　※LED下部操作部照明とセットオプション	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	墜落制止用器具取付確認装置	墜落制止用器具フックを所定の掛け箇所にかけていない場合に架装部操作を規制	△	△	△	－	－	－	△	△	△	△	△
	改良型セーフティーロープインターロック装置(ランプ付)	墜落制止用器具フックを所定の掛け箇所にかけていない場合に架装部操作を規制。また表示灯によってフックの装着有無を地上から判別可能	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	上部ブースター(1系統)	増圧器を設置。スイッチはバルーン式と電気式のいずれかを選択	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	上部ブースター(2系統)	増圧器を設置。スイッチはバルーン式と電気式のいずれかを選択。系統切替スイッチが同時装着	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	ブースタースイッチ(誤操作防止機能付き)	電気式を選択時のみ装着可能	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	常設サブブーム	サブブームをウインチから外すことなく、常時セットした状態で走行が可能	△	△	△	－	－	－	△	－	－	－	－
	ウインチドラム巻込まれ防止補助装置	ウインチ巻取り操作時における手・指などの巻込まれリスクを低減	△	△	△	△	△	△	△	－	－	－	－
	垂直・水平面移動装置	垂直方向および前後左右の水平面の移動が可能	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	非常用ポンプ	燃料切れなどの緊急時にシャシーバッテリー動力で格納操作が可能	○	△	△	○	△	△	△	○	△	△	△
ブーム	アシストレール	ブーム側面に墜落制止用器具フックをかけるレールを設置。安全な昇降を補助	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	仮腕木格納装置	ブーム側面に仮腕木の格納が可能	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
工具箱	左1段工具箱	寸法(幅×高さ×奥行):1845mm×500mm×575mm	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	左2段工具箱	寸法(幅×高さ×奥行):1795mm×275mm×575mm	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○
	左2段工具箱(上開き)	寸法(幅×高さ×奥行):1795mm×300mm×575mm	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	左3段工具箱(上開き)	寸法(幅×高さ×奥行):1795(1535)mm×270mm×575(235)mm※　※工具箱内に段差があるため、一部の寸法がカッコ内の数値になる箇所があります	△	△	－	△	△	－	△	△	△	－	△
	左後工具箱	寸法(幅×高さ×奥行):895mm×500(230)mm×575(365)mm※　※工具箱内に段差があるため、一部の寸法がカッコ内の数値になる箇所があります	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	右1段工具箱	寸法(幅×高さ×奥行):1845mm×500mm×575mm	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	右2段工具箱	寸法(幅×高さ×奥行):1795mm×275mm×575mm	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○
	右後工具箱	寸法(幅×高さ×奥行):895mm×500(230)mm×575(365)mm※　※工具箱内に段差があるため、一部の寸法がカッコ内の数値になる箇所があります	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	右側あおり(開閉式)	寸法(幅×高さ×奥行):1845mm×350mm×570mm	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	右工具箱上面枠	寸法(幅×高さ×奥行):1685mm×195mm×530mm	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
車体部	LED下部操作部照明	操作者の手元視界を補助　※LED上部操作部照明とセットオプション	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	下部作業灯	操作者の視界を補助	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	LED下部作業灯	操作者の視界を補助	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	輪止めインターロック装置	輪止めを設置していない場合にジャッキ操作が規制され、車両の逸走リスクを低減	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	坂道逸走補助防止装置	所定の手順を守らないとジャッキ操作が規制され、車両の逸走リスクを低減	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	ジャッキ自動張出装置	スイッチ1つで4本のジャッキ操作が可能。前後のジャッキが正しい順序で作動し、傾斜に合わせて機械が自動で車体の水平も調節	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
アウトリガージャッキ	グリスレスジャッキ	グリス塗布のないジャッキを採用。接触による衣服などの汚損リスクを低減	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	フロントロングジャッキ	11.3度以内の傾斜に対応　※キャビン昇降用ステップとセットオプション	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	LEDアウトリガー注意灯	ジャッキポスト上部の注意灯が点灯し、周囲に注意喚起を実施	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	アウトリガー・ジャッキ作動警報装置	アウトリガーおよびジャッキの操作時に警報音が鳴動	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	大型パッドベース	ジャッキ接地圧を低減。標準の木製ジャッキベースと同等の効果を発揮	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
キャビン	路面傾斜警報装置	路面傾斜状態による車両設置可否を警報音および表示灯にて表示	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	キャビン昇降用ステップ	フロントロングジャッキ使用におけるキャビン乗り込みを補助　※フロントロングジャッキとセットオプション	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	サラウンドビュー	車両周囲を運転席のモニターで確認が可能	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	SMIL	車両の位置情報、作動情報、異常情報などの遠隔モニタリングが可能	△	△	△	△	△	△	○	△	△	△	○
	ロックブレーキインターロック装置	作業用補助制動装置を作動していない場合にジャッキ操作を規制	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
搭載品	黄色輪止め	視認性の向上。置き忘れ防止に寄与	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	ゴム製ジャッキベース	ジャッキ張出時の路面傷付けリスクを低減。寸法(縦×横×高さ):365mm×365mm×30mm	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	傾斜地ジャッキベース	7度以内の傾斜に対応。寸法(縦×横×高さ):379mm×379mm×142mm	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	サブブームカバー	サブブームを汚損や劣化から保護	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	上部補助バッテリー	予備の上部バッテリーを搭載	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	仮腕木一式	サブブーム先端に装着することで、架線の仮支持が可能。作業効率の向上に貢献	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	絶縁フック	工具や資材を掛けることが可能。バケット内の整理整頓に貢献	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	FRPボックス	工具や小物資材の収納が可能。バケット内の整理整頓に貢献　寸法(縦×横×高さ):220mm×495mm×300mm	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
リチウムイオンバッテリー専用	据え置き型急速充電器	充電時間の大幅な短縮が可能	－	－	－	－	－	－	△	－	－	－	△
	急速充電器コネクター差込口	車体部に急速充電器専用の差込口を新設	－	－	－	－	－	－	△	－	－	－	△

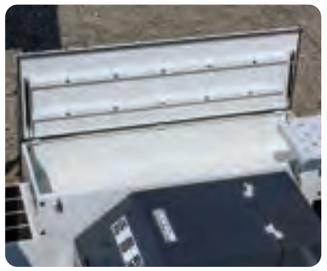
※グレードや仕様内容により装着できない場合があります
※ OP マークは「オプション装備」であることを表します

オプション

数多くのオプションをラインナップ。
現場環境・作業内容に合わせてお選びいただけます。

1段工具箱 ①
寸法(幅×高さ×奥行):
1845mm×500mm×575mm

2段工具箱 OP ②
寸法(幅×高さ×奥行):
1795mm×275mm×575mm



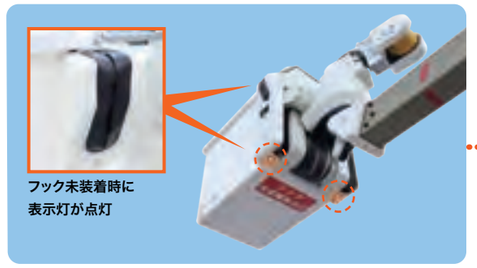
2段工具箱(上開き) OP ③
寸法(幅×高さ×奥行):
1795mm×300mm×575mm

後方工具箱 OP ④
寸法(幅×高さ×奥行):
895mm×500(230)mm×575(365)mm※
※工具箱内に段差があるため、一部の寸法が
カッコ内の数値になる箇所があります

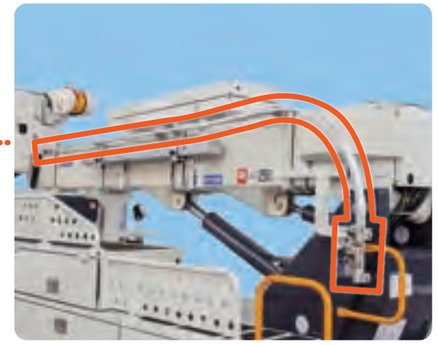
右側あおり(開閉式) OP ⑤
寸法(幅×高さ×奥行):
1845mm×350mm×570mm

右工具箱上面枠 OP ⑥
寸法(幅×高さ×奥行):
1685mm×195mm×530mm

※上記装備は一例です。詳しくはP25-26「オプション一覧」を御参照ください



改良型セーフティーロープインターロック装置(ランプ付) OP
墜落制止用器具フックを所定の掛け箇所に
かけていない場合に架装部操作を規制。
また表示灯によってフックの装着有無を
地上から判別可能です。

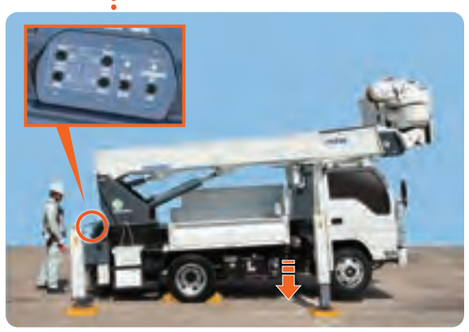


アシストレール OP
ブーム側面に墜落制止用器具フックをかけるレールを設置。
安全な昇降を補助します。
[参考]特許2011-180866号

フロントロングジャッキ OP
11.3度以内の傾斜に対応可能です。
※キャビン昇降用ステップとセットオプション

大型パッドベース OP
ジャッキ接地圧を低減。
標準の木製ジャッキベースと
同等の効果を発揮します。

サラウンドビュー OP
車両周囲を運転席のモニターで確認が可能です。



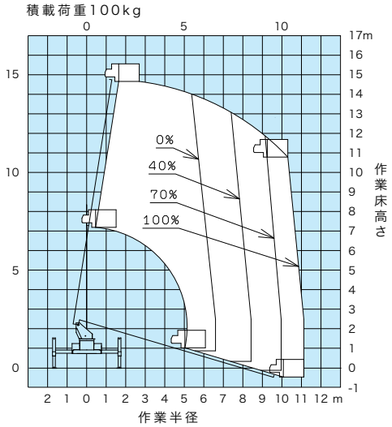
ジャッキ自動張出装置 OP
スイッチ1つで4本のジャッキ操作が可能。前後のジャッキが
正しい順序で作動し、傾斜に合わせて機械が自動で車体の
水平も調節します。またジャッキのストロークが足りずに
車体の水平取りができない場合には表示灯が点灯し
注意喚起を行います。

※ OP マークは「オプション装備」であることを表します
※掲載画像はオプション装着車です

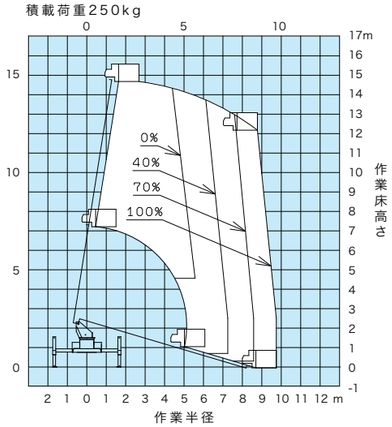
SH15C1FS

■A,B,C,Pグレード　作業範囲図

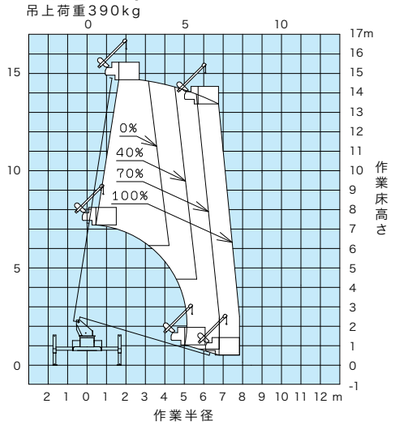
積載荷重100kg



積載荷重250kg

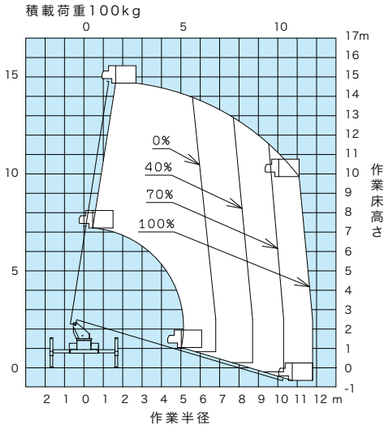


積載荷重200kg
吊上荷重390kg

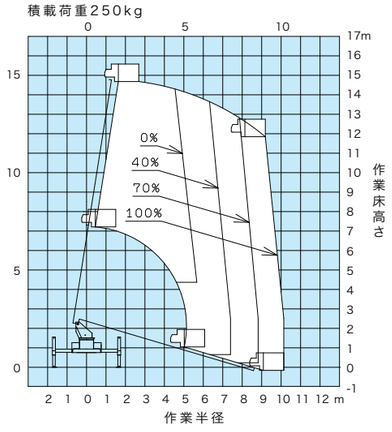


■Dグレード　作業範囲図

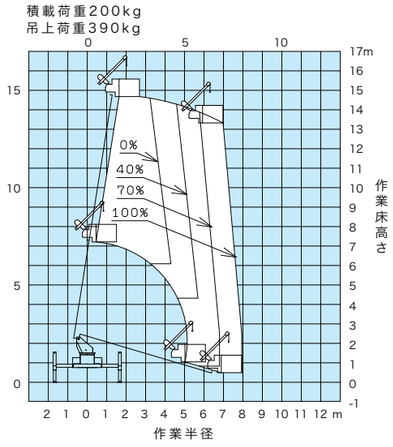
積載荷重100kg



積載荷重250kg

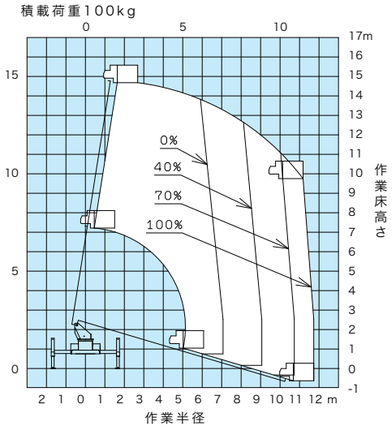


積載荷重200kg
吊上荷重390kg

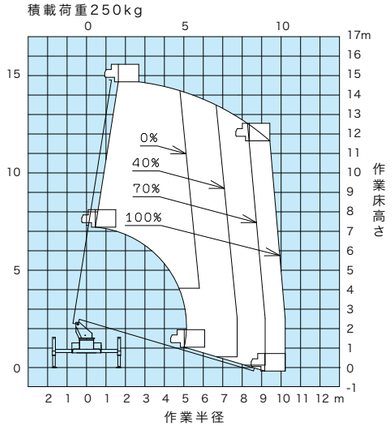


■E,Fグレード　作業範囲図

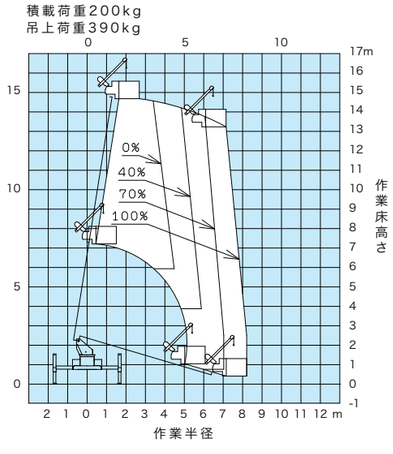
積載荷重100kg



積載荷重250kg



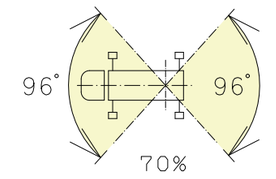
積載荷重200kg
吊上荷重390kg

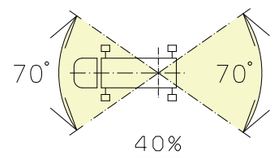


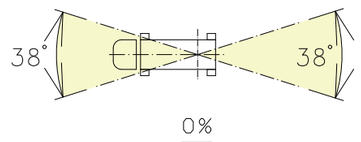
■旋回規制角度（アウトリガー張幅別）

※全グレード共通

1）下図における黄色の領域内では、「アウトリガー100%張出時と同等」の作業範囲が発揮されます
2）黄色の領域を外れると、アウトリガー張幅に応じて作業範囲が規制されます（左図参照）
3）アウトリガー100%張出時の作業範囲は全周同一です





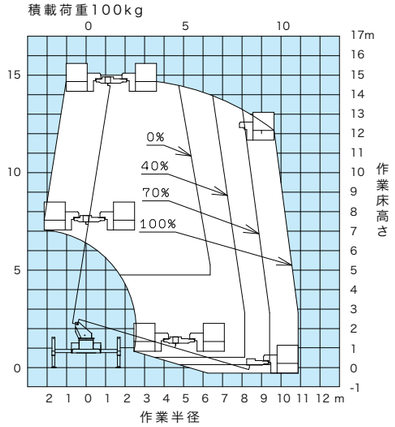


- 作業範囲は、水平堅土上におけるものでブームのたわみは考慮されていません
- 0%、40%、70%、100%は、アウトリガー張幅を示します
- 作業範囲はブームが車両直角方向にある場合を示し、前後方向の範囲はアウトリガー最大張出と同じです
- 作業範囲および旋回規制角度は、アウトリガー張幅により連続的に変化します
- グレードの詳細については「主要諸元」を御参照下さい

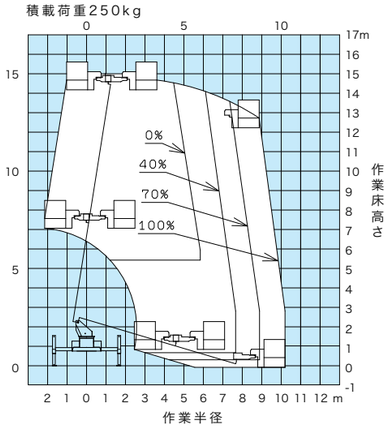
SN15C1FS

■全グレード共通　作業範囲図

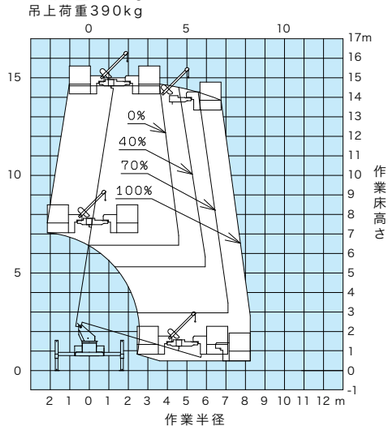
積載荷重100kg



積載荷重250kg



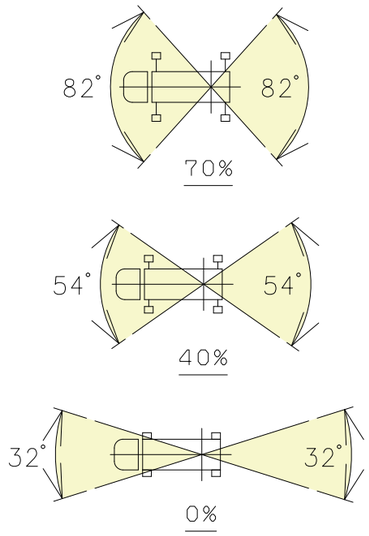
積載荷重200kg
吊上荷重390kg



■旋回規制角度（アウトリガー張幅別）

※全グレード共通

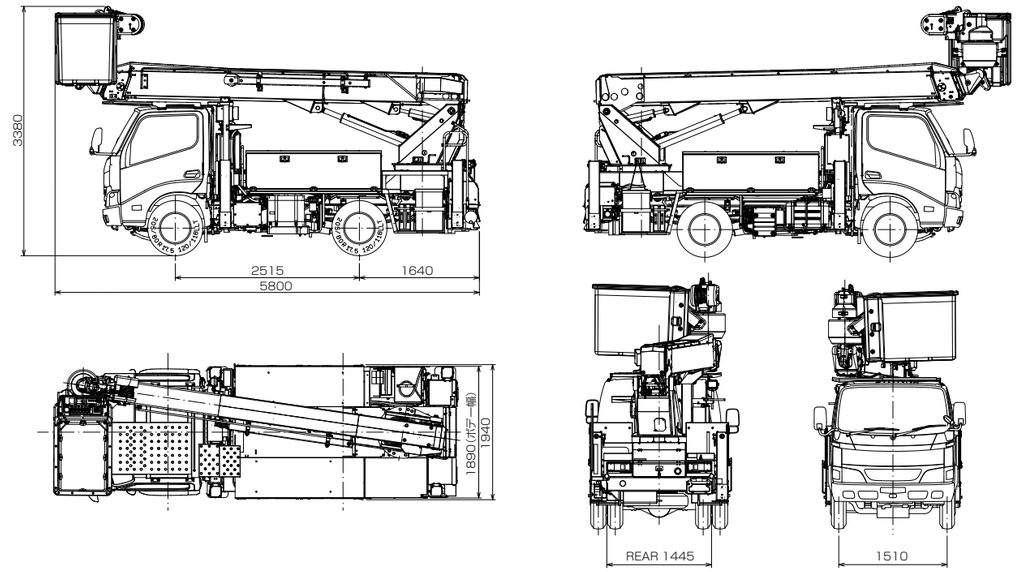
1）下図における黄色の領域内では、「アウトリガー100%張出時と同等」の作業範囲が発揮されます
2）黄色の領域を外れると、アウトリガー張幅に応じて作業範囲が規制されます（左図参照）
3）アウトリガー100%張出時の作業範囲は全周同一です



●作業範囲は、水平堅土上におけるものでブームのたわみは考慮されていません
●0%、40%、70%、100%は、アウトリガー張幅を示します
●作業範囲はブームが車両直角方向にある場合を示し、前後方向の範囲はアウトリガー最大張出と同じです
●アウトリガー張幅0%～40%時の作業範囲および旋回規制角度は、アウトリガー張幅により連続的に変化します
●グレードの詳細については「主要諸元」を御参照下さい

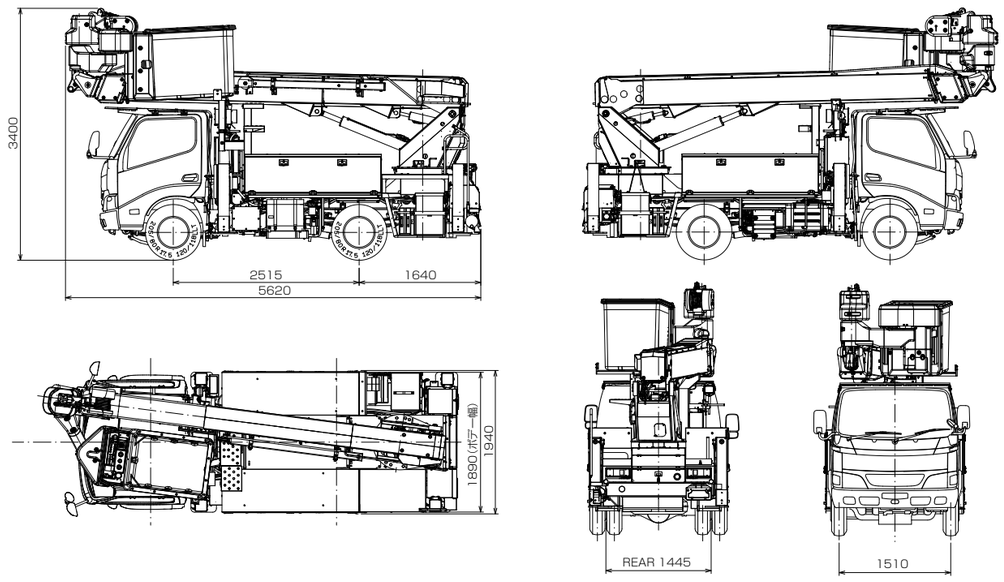
SH15C1FS

■車両寸法図



SN15C1FS

■車両寸法図



※車両寸法図における単位はmmです
※車両寸法は架装シャシーにより異なります

主要諸元

型式		SH15C1FS							SN15C1FS			
グレード		A	B	C	D	E	F	P	A	B	C	P
名称		高所作業車							多関節型高所作業車			
作業床	最大積載荷重	250kg(2名)										
	最大地上高	15.1m(スライド昇降0.5m含む)			14.6m			15.1m(スライド昇降0.5m含む)	14.6m(スライド昇降0.5m含む)			
	最大作業半径	11.1m			11.8m	11.7m		11.1m	10.9m			
	内側寸法	0.7m×1.1m×0.9m(幅×奥行×高さ)										
	首振角度	左100°～右100°							左120°～右120°			
	スライド昇降	0.5m			-			0.5m	0.5m			
	材質	FRP										
アーム	長さ	-							0.9m			
	旋回角度	-							左125°～右125°			
バケットライナー	材質	ポリエチレン										
	耐電圧	20kV(5分間)										
	内側寸法	0.7m×1.0m×0.9m(幅×奥行×高さ)										
活線作業装置＊	漏洩電流	0.5mA以下13.8kV(5分間)										
	電路電圧	6.9kV										
ウインチ サブブーム	吊り上げ荷重	490kg										
	地上揚程	16.5m(サブブーム起伏角度60°)							16.2m(サブブーム起伏角度60°)			
	材質	FRP										
	耐電圧	20kV(5分間)										
	巻上げ/巻下げ速度	35m/60s	30m/60s	35m/60s		30m/60s	35m/60s	35m/60s【高速】30m/60s【通常】	35m/60s	30m/60s	35m/60s	35m/60s【高速】30m/60s【通常】
ブーム	長さ	5.1m～12.7m							5.1m～12.3m			
	伸縮ストローク	7.6m							7.2m			
	伸縮速度	33s(伸)、25s(縮)	40s(伸)、25s(縮)	33s(伸)、25s(縮)		40s(伸)、25s(縮)	33s(伸)、25s(縮)	33s(伸)、25s(縮)【高速】40s(伸)、25s(縮)【通常】	33s(伸)、25s(縮)	40s(伸)、25s(縮)	33s(伸)、25s(縮)	33s(伸)、25s(縮)【高速】40s(伸)、25s(縮)【通常】
	起伏角度	−16.5°～81°										
	起伏速度	35s(上)、30s(下)										
	第3ブーム材質	FRP										
	第3ブーム耐電圧	100kV(5分間)										
旋回装置	旋回角度	360°全旋回										
	旋回速度	1.2rpm										
アウトリガージャッキ	アウトリガー張幅(前・後)	1.7m～3.4m										
安全装置		油圧系安全装置(油圧安全弁、ブーム起伏安全装置、ブーム伸縮安全装置、作業床平衡安全装置、ジャッキ伸縮安全装置)、ブーム格納検出凍結対応システム、墜落制止用器具フック掛け、作動停止スイッチ、アウトリガー張幅独立検知式過負荷防止装置、下部優先スイッチ、ブーム干渉防止装置、ジャッキ・ブームインターロック装置、感電防止補助銘板、ニュートラル検知インターロック装置、パーキングブレーキインターロック装置、PTO切り忘れ警報装置、水準器										
標準装備	共通	ブーム自動格納装置、3軸ジョイスティック操作レバー(イネーブルスイッチ付き)、上部油圧取出口、上部バッテリー自動充電装置、上部電源オートオフ装置、バケットライナー、ライナープロテクター、エンジン始動・停止装置、左右1段工具箱、カラーコーン収納装置、コーンバー収納装置、下部作業灯 マルチインフォメーションディスプレイ、アースリール										
	各機種	異物侵入防止ゴムカバー(上部操作部)							-			

※架装シャシー・仕様により異なる場合があります
※ジャッキ張幅とは「左ジャッキの中心～右ジャッキの中心」を指します
＊バケットライナー～大地間、第3ブーム500mm伸長時

安全に関するご注意

- ●高所作業車の操作には以下の資格が必要です。
  - ・作業床の最大高さが2m以上10m未満のものは、高所作業車運転のための「特別教育修了者」または「技能講習修了者」
  - ・作業床の最大高さが10m以上のものは、高所作業車運転のための「技能講習修了者」
- ●高所作業車の操作には「労働安全衛生法」「労働安全衛生規則」にもとづく適切な装備・器具の着用が必要です。
- ●強風(10分間の平均風速10m/s以上)、大雨(1回の降雨量50mm以上)大雪(1回の降雪量250mm以上)等、悪天候下での、2m以上の高所作業は法令により禁止されています。
- ●ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

※本仕様、装備名称および外観や構造の一部を予告なく変更することがあります
※車両および装備の色は撮影、印刷インキの関係で実際の商品と異なって見えることがあります
※本カタログ内の数値は参考値となります
※掲載されているオプションについては、一部のグレードには装着できない場合があります

※ OP マークは「オプション装備」であることを表します

わたくしたちは、新しい変化を創造することで社会の発展につくします

SH/SN15C1FS導入のご相談を承ります

お問い合わせ先・営業拠点

本社	TEL.048-781-1111	〒362-8550 埼玉県上尾市大字領家字山下 1152 番地の10
国内営業部	TEL.048-781-3330	〒362-8550 埼玉県上尾市大字領家字山下 1152 番地の10
北日本支店	TEL.022-236-0421	〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町 3-4-8
北日本支店 北海道	TEL.011-665-1301	〒063-0834 北海道札幌市西区発寒 14 条 4 丁目 2-70
関東支店	TEL.048-852-1104	〒338-0014 埼玉県さいたま市中央区上峰 1-15-4
中部支店	TEL.052-621-5112	〒459-8001 愛知県名古屋市緑区大高町丸の内 70-1
中部支店 北陸	TEL.076-434-2181	〒930-0177 富山県富山市西二俣 354
関西支店	TEL.06-6307-4567	〒532-0027 大阪府大阪市淀川区田川 3-9-56
中四国支店	TEL.082-429-2011	〒739-0151 広島県東広島市八本松町大字原 10852-57
中四国支店 四国	TEL.087-874-0808	〒769-0102 香川県高松市国分寺町国分 59-7
九州支店	TEL.092-935-5353	〒811-2207 福岡県粕屋郡志免町南里 2-26-1
九州支店 サテライト沖縄	TEL.098-867-7337	〒900-0014 沖縄県那覇市松尾 2 丁目 17-29 タウンコート玉商 B 棟 6-G

アイチコーポレーションのホームページからもお問い合わせが可能です QRコードを読み込んでください

機械化車両をより効果的に運用いただくために

機械の運用、安全のためにご活用ください

アイチ研修センターは、メーカーの教習機関として「経験豊富なスタッフ」「充実した設備」「最新の機材」により、お客さまのご要望にお応えします。
現場に即した実践的な実技指導を特徴とし、資格取得だけでなく危険再認識教育や技能向上教育など幅広いお役立ちを目指しております。

アイチ研修センター 労働局長登録教習機関
TEL.048-725-4441 FAX.048-725-4466
https://www.aichi-kensyu.co.jp

機械化車両を安心・安定して運用いただくために

点検と最適なメンテナンスのご提供

「いつもベストなコンディションで使える」「故障による機械停止などの低減」のために、機械の定期点検をお勧めします。
定期点検は、専門教育を受けている全国200箇所以上のアイチコーポレーションのサービスネットワークへお任せください。

※詳しくは最寄りのアイチコーポレーションカスタマーサービスセンターにお問い合わせください
※最新の全国ネットワークサービスについては弊社ホームページで確認できます

北日本支店	東北中央カスタマーサービスセンター	TEL.022-236-0421
	北海道中央カスタマーサービスセンター	TEL.011-665-1301
	新潟カスタマーサービスセンター	TEL.025-259-6661
関東支店	関東中央カスタマーサービスセンター	TEL.048-852-1101
	上尾カスタマーサービスセンター	TEL.048-781-1503
	神奈川カスタマーサービスセンター	TEL.045-921-3905
中部支店	名古屋中央カスタマーサービスセンター	TEL.052-621-2290
	北陸中央カスタマーサービスセンター	TEL.076-434-2181
	三重サービスステーション	TEL.059-264-7873
関西支店	大阪中央カスタマーサービスセンター	TEL.06-6307-4555
	神戸サービスステーション	TEL.078-974-1231
中四国支店	広島中央カスタマーサービスセンター	TEL.082-429-2011
	高松サービスステーション	TEL.087-874-0808
	今治サービスステーション	TEL.0898-32-0860
九州支店	九州中央カスタマーサービスセンター	TEL.092-935-5353

「安全」「効率」「快適」を現場に

一人ひとりのお客さまにとって「なくてはならない存在」に。
作業環境創造企業として
課題解決のパートナーを目指します。

株式会社アイチコーポレーション

●アイチコーポレーション オフィシャルホームページ
https://www.aichi-corp.co.jp

※カタログ中の写真、イラストは実際の仕様と異なる場合があります
　また、記載の仕様は予告なく変更する事がありますのでご了承ください

※機械化車両は完成車の品質を検査するために作動テストを行います。そのため納車時にアワメーターの数値が増えている場合があります
※完成車をお届けするにあたり、自走する場合があります。そのため納車時に走行距離の数値が増えている場合があります

i2412-800②